令和５年度　学校経営計画書

<table>
<tr><td rowspan="2">学校番号</td><td>33</td><td rowspan="2">学 校 名</td><td>静岡県立清水南高校</td><td rowspan="2">校 長 名</td><td rowspan="2">小野田　秀生</td></tr>
<tr><td>1</td><td>静岡県立清水南高校中等部</td></tr>
</table>

１　スクール・ミッション

世界文化遺産のある三保の地で、普通科と芸術科を併置した県立中高一貫校として、表現活動や探究活動及び芸術教育を通じて、高い知性と豊かな感性・表現力を備えたグローバル人材の育成を目指す。

２　目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
●本校では卒業までの６年間でこのような力を身に付けます 【高い知性と思考力】 ○よりよい社会を築くための高い知性と主体的に行動する力 【豊かな感性・表現力】 ○未来を切り拓くための豊かな感性・表現力と創造する力 【地域・国際社会に貢献】 ○予測困難な時代をしなやかに生き抜き、社会に貢献するために、他者を認め、他者と協働し、物事に粘り強く取り組む力	●本校では６年間でこのような学びを行います 【高い知性と思考力】 ○個別最適な学びに対応した魅力ある授業づくりを推進し、学力向上に取り組みます。 【豊かな感性・表現力】 ○国内外の芸術等に触れる体験的な学習や言語・身体を使った表現活動を推進します。 【地域・国際社会に貢献】 ○６年間を見通したキャリア教育と自己理解や他者理解を深める総合的な学習(探究)に取り組みます。 ○生徒が主体的に取り組み、自己有用感を高める学校行事と部活動・生徒会活動等を推進します。	●本校ではこのような生徒を求めています ○高い学習意欲を持ち、探究心旺盛な生徒を求めます。 ○授業や学校行事に自ら進んで取り組み、課題を解決するために仲間と協働できる生徒を求めます。 ○規則正しい生活と学習習慣を身に付けており、目標に向かって努力し続ける生徒を求めます。

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

ア　中高一貫校のメリットを生かし、中等部から習熟度別授業や高校の先取り学習等を行い、６年間を見通した計画的学習に取り組むとともに、個別最適な学びに対応した魅力ある授業を実施する。

イ　自らの生き方・在り方に関心を持たせ、６年間を通して計画的なキャリア教育に取り組む。

ウ　特別活動や部活動等を通じて自己有用感を高めるとともに、教育相談体制を充実し、心身の健康増進を図る。

エ　６学年が一体となった魅力ある学校行事等を通して、学校への帰属意識を持たせるとともに、国内外の芸術等に触れる機会を通じて、豊かな感性や表現力を育てる。

オ　世界文化遺産のある三保の地で郷土文化への理解を深めるとともに、地域社会や産学官の連携を推進する。

カ　安心・安全な教育環境の整備に努めるとともに、学校事務の円滑な遂行、働き方改革を含めた業務改善を行うことにより、教育活動を充実させる。

３　本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	**新学習指導要領に基づいた授業改善を進め、主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。**	ICT 活用を含む教員研修や授業評価等を用い、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に取り組む。	「授業で力がついた」と答える生徒の割合：80％	教務課(研修担当)
			授業公開週間実施回数：年間３回 外部講師による講演満足度：80％	
		学年部・教科間が連携しながら個別最適な学びに対応した授業及び課題を工夫し、家庭学習の習慣を確立させる。	週５日以上家庭学習に取り組む生徒の割合：80％	進路課・学年部・教科
		６年間を見通した学力測定ツールを活用し、６学年の学習指導を検証する。	校内研修での学びを生かして授業改善に取り組んだ教員の割合：80％	進路課・学年部・教科
イ	**中高６年間を見通したキャリア教育の充実を図る。**	６年間を見通したキャリア教育に基づき、自らの進路希望を実現する。	「自らの進路についてより深く考えるようになった」と答える生徒の割合：80％	進路課・学年部・芸術科
		外部講師による講演、講義等を開催し、自分の将来を見通す機会とする。	講演、講義等の回数：年間合計 10 回	
		大学、研究機関及び企業等を訪問し、外部人材を活用したキャリア教育を推進する。	大学、企業等の訪問・見学等回数：年間合計 10 回	
ウ	**自己有用感を高めるとともに、教育相談体制を充実させ、心身ともに健康な生徒を育成する。**	特別活動等を通じて、生徒の自己有用感を高める教育活動を推進する。	「自分には良いところがある」と答える生徒の割合：70％	生徒相談課・学年部
		学校生活のルールを守り、正しい判断・行動をとれるようにする。	「自ら進んであいさつをしている」と答える生徒の割合：80％	生徒相談課
			教員参加による交通安全街頭指導の実施：年間 10 回	
		悩みを抱えた生徒、保護者が相談しやすいように、相談室の運営を充実させる。	長期欠席生徒(年間欠席30日以上)及び転退学者：０人	生徒相談課(教育相談担当)
			「学校に相談できる人がいる」と答える生徒の割合：80％	
		健康維持・増進について生徒の意識を高める指導を行う。	「保健だより」の発行：年間12回	生徒相談課(保健担当)
エ	**学校行事、部活動等の充実を図るとともに、アカデミック・ハイスクールの取組を推進し、豊かな感性や表現力を育てる。**	部活動や読書活動を通して、心身の成長を図り、豊かな感性や徳のある人間性を育む。	部活動に一生懸命取り組む生徒の割合：80％以上	生徒相談課
			読書活動の生徒充実度：70％ 図書館貸出数：4000冊以上	総務課(図書担当)
		魅力ある学校行事を運営し、学校生活の満足度を高める。	「学校生活が充実している」と答える生徒の割合：70％	生徒相談課
			研修旅行で「充実している」と答える生徒の割合：90％以上	該当学年部
		「表現」の授業内容を工夫し、生徒の能力向上を図る。	「協調性、表現力、集中力が身に付いた」と答える生徒の割合：80％	「表現」担当(中等部)

		国内外の芸術等に触れる機会を通じて、芸術科生徒の専門的な知識、技能の一層の向上を図る。	芸術鑑賞、校内演奏会、公開レッスン等実施回数：年間計 10 回	芸術科
			美術鑑賞、実技講習会等実施回数：年間計 10 回	
オ	郷土文化への理解を深めるとともに、地域社会や産学官の連携を推進する。	地域、企業、大学、研究機関等との連携し、積極的に社会に関わる意識を醸成する。	奉仕活動や社会貢献活動に参加したと答える生徒の割合：60%以上	生徒相談課・学年部・教科
			海外交流行事等実施：１回以上	
		地域と連携した防災教育を推進する。	実践的防災訓練実施：年間３回 地域防災訓練参加率：中等部50%、高校45%	総務課
		積極的な広報活動を通じ、開かれた学校づくりを目指す。	土曜ｵｰﾌﾟﾝｽｸｰﾙ参加者数：年間 1,600人 ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱｸｾｽ：年間 500,000 件	総務課・学年部
		校舎内外の美化を推進する。	平常の清掃、学期初めと終わりの清掃及び全校清掃の徹底	生徒相談課（保健担当）
カ	安心・安全な教育環境の整備、事務業務の効率化、働き方改革を含めた業務改善を行う。	計画的な予算執行と事務の効率化に努める。	予算執行等に関する校内研修会の開催：年１回	事務部
		教職員のコンプライアンスを徹底する。	講話や研修等の取組：月１回以上	管理職
		時間外勤務削減等の業務環境の改善を進める。	夏季休暇の取得率：100% 時間外勤務一ヶ月平均45時間以上の教職員数を前年度より減少させる	管理職
			職員会議における報告の簡潔化と審議の効率化による勤務時間内での会議の終了	